

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)			内部評価者名 課長・室長・支所長	阿久根森喜	
事務事業名	主催事業 てらやまんち「森の学校」		担当者	研修指導グループ	
所管部課名	教育部 少年自然の家 課		事業の根拠 (根拠法令)		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	青少年の健全育成
				施策 (項)	青少年の健全育成
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育費		目	少年自然の家費
	事項	少年自然の家事業費		細事項	少年自然の家事業費

事業の概要

より多くの市民が寺山の自然に親しみ、自然の素材を活用した創作活動を通して、作る楽しさや感動を味わうことで、生涯学習へと繋げる機会とする。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を,何を対象とする事業か)	市内に居住する者			事業開始年度		平成17年度	
	手段 (市がどのような活動をするか)	陶芸(土からの制作)・・・2回 木工(1枚板を使った木工作品作り)・・・3回 木工旋盤(旋盤を使っての木皿や一輪挿し作り)・・・2回 草木染め(自然の素材を活かした,のれん作り) 竹炭(竹炭を使った,トールペイント作り)	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名		参加者数		
				最終目標値		開催回数の増		
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	自然の素材を活用した創作活動を通して、作る楽しさや感動を味わい生涯学習へと繋げる機会とする。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	最終年度		継続		
				指標名		定員に対する申込者数		
				最終目標値		アンケート調査		
最終年度					定員を上回る参加者数			
項目		単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	
コスト・ 指標の 推移	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		42	22	26	22	16
		合計(A)		42	22	26	22	16
従事職員数		人	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	
人件費(B)		千円	480	320	320	320	320	
従事嘱託員数		人	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02	
人件費(C)		千円	320	240	160	160	160	
トータルコスト		千円	842	582	506	502	496	
活動指標の推移			30人/回	30人/回	30人/回	30人/回	30人/回	
			216人	269人	260人	260人	260人	
成果指標の推移			30人/回	30人/回	30人/回	30人/回	30人/回	
		%	103%	99%	100%	100%	100%	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

講師謝金

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 自然の素材を活用した創作活動を通して、作る楽しさや感動を味わうことで、生涯学習へと繋げる機会とする。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 自然の素材を活用した創作活動を通して、作る楽しさや感動を味わうことで、市民の生きがいづくりへの支援と生涯学習へと繋げる機会となるものである。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 実施に当たっては、受益者負担が原則である。更に指導にあたっては職員が対応し、極力、経費削減に努めている。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 当該事業は、職員と嘱託職員が担当である。安全面、活動の充実面から最低必要な人員である。
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 多くの市民に学習の場や機会を提供することは、市民の生きがいづくりへの支援と個性豊かな人づくりや幸せを実感できるふるさとづくりを推進できる。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 参加者のニーズを的確に把握し、幅広い層の市民の参加が得られる企画が求められる。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (二次)	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 事業は、自然の素材を活かした企画を行い、毎年見直し、参加者が楽しみを持って参加し、喜びをもって帰られるような企画立案をする。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 キーワード 豊かな自然の恩恵に触れる素材を使った創作活動 参加者同士の交流 作る楽しさと感動を味わう生涯学習の推進
内部評価 (一次)	評価者名 _____
	内部評価結果 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 少年自然の家の特色を活かした主催メニューの研究・検討